

●○○ 第228回あすか倶楽部 定例会 ●○○

テーマ：「お魚かたりべ」が語る水産物を楽しむ方法

講師：一般社団法人大日本水産会 魚食普及センター課長 早武 忠利 氏
(水産庁長官任命 お魚かたりべ)

日時：2022年1月15日(土) 14:00 ~ 17:00

場所：三会堂ビル8階 (一社)大日本水産会 大会議室

講師履歴

マルハニチロ(株)に入社し、即席麺用の具材を調達するために、食材を探して海外に出張していました。
5年前に大日本水産会へ出向し、2年前に転籍しました。
食育プログラムを開発し、お魚かたりべとして魚食普及の活動をされています。

お魚かたりべ

国民の魚離れを食い止めるために、魚食文化の普及・伝承に務めている人、魚食文化に係る実績、ネットワーク、情報発信力などを有し、こどもや若者、主婦層、高齢者等、様々な消費者に対して、魚食への関心や知識を務めている人を、水産庁長官がお魚かたりべとして任命しています。

本日の内容

- ・お魚かたりべとしての活動

魚食普及のために全国各地で出前講座を実施しています。

幼稚園から中学生まで年代に合わせた内容にしていますが、保育園・幼稚園では、保護者も含めた食育に重点を置いています。小学生からでは遅いと考えています。

鮮魚タッチ体験・いかの解剖教室・おさかぬりえの作成など、興味を持ってもらうための色々な工夫を行っています。

- ・エビの解剖体験

エビの解剖体験では、実際のエビを使って、胃袋や背ワタの取り方、部位の説明を行いました。調理師学校での教育も行っているそうです。

- ・資源調査のためマグロの調査

毎月、豊洲市場に通ってマグロの資源を調査するために、上場された鮪の調査のお手伝いを実施、その知識を出前授業等で役立てています。

- ・魚介類の流通のしくみ

所感

お魚かたりべとして、練り上げられたトークとエビの解剖体験は、大変興味深く、飽きることない御講演はとても楽しかったです。

YouTube の動画も多数あり活動の幅の広さを感じました。

日本人の魚を食べる量が世界5位というのは、かなり残念に思いましたので、魚食普及のために、今後のご活躍を期待しています。